

英語の学習 第7学年 担当：片野 佐藤 斎藤 石牧

英語は3年間週4時間、授業があり最も授業時数が多い教科です。しかし、英語を流ちょうに話したり書いたりできるようになるには、学校の授業だけでは残念ながら十分とは言えません。インプットも大事ですが、アウトプットをどれだけできるかが英語をマスターする鍵になります。恥ずかしがらずに、話したり書いたりしましょう。

ア 授業の約束

- ・チャイムがなる前に自席に着席する。
- ・授業が始まる前に、教材をすべて机の上に出す。忘れ物は、授業が始まる前に言おう。
- ・英語の授業で使う教材は、教科書、ノート、EIGONOPARTNER、読み書きラポ、ファイルの5点セット。宿題が出た場合は、自分で判断して持ち帰ろう。
- ・提出物は、期限を守る。

イ 英語の授業で「大切なこと」

- ・たくさん英語を発話する。良いものは真似してみる。間違いを恐れず挑戦する。
- ・先生の指示をしっかりと聞く。
- ・特に復習を大切にすること。

ウ ノートの取り方、作り方

- ・ノートの書き方は、ノートの最初のページを参考に書く。
- ・基本的にプリントを使って進めるので、先生の言葉などメモをとるとよいでしょう。

エ 家庭学習の仕方

- ・英語では、予習より「復習」を中心に家庭学習をするとよいでしょう。
- ・その日の授業で学習した、教科書のページのノートを作りましょう。
- ・授業で学習した教科書の音読を最低10回行いましょう。worldclassroomで提出しよう。
- ・授業で習った文法や本文理解のプリントをもとに、ワークの問題を何度も解いてみましょう。

オ 学習の評価について

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・定期考査 ・パフォーマンステスト ・スピーキングテスト ・リーディングテスト ・リスニングテスト	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・スピーキングテスト ・リーディングテスト ・リスニングテスト	・パフォーマンステスト ・スピーキングテスト ・リーディングテスト ・音読チェック ・提出物の取り組み状況 ・作品の作成

カ その他

- ・基本的に少人数クラスで行います。不定期でALTがきます。
- ・クロムブックを適宜活用します。
- ・worldclassroomは、音読チェック機能のついているサイトです。文章の添削補助もついています。
- ・デジタル教科書は、家でクロムブックを利用して、本文を聞くことができます。